

夏祭りのお手伝いに汗をかきかき大奮闘

連日の猛暑が続く中、8月9日（金）“第22回ふれあい広場 夏祭り”が開催され、今年初めての試みで、地域の小学生ボランティアが参加してくれました。仁戸名小学校6名、松ヶ丘小学校4名のジュニアボランティア隊が青いキリンのエプロンに身を包み、お祭りのゲームの受付や、おしるこコーナーで患者さんに一生懸命声

かけをしてくれ、センター職員も感激。「笑顔で触れ合ったり、

いろいろな体験ができて楽しかったです」と話して、疲れも見せずに最後にはチーバくん記念撮影(^_^)vこの日のボランティアは小学生



だけではありません。淑徳大学のカラーカラーズ4名、光の会2名も参加して、夕暮れから夜まで車椅子の患者さんを次々にご案内して、一緒にお祭りを楽しめるようにサポートしてくれました。会場では今年もチーバくんの登場に患者さんも大喜び。気軽に記念



写真にも参加し、緩和の病室も訪問してくれました。以前にチーバくんのマスコット人形を作ったことのある患者さんの病室前では、部屋に入れないチーバくんに「まあ、こんなに大きくなって!?!」と、ユーモラスに声をかけていました。夏祭りを通して患者さんにも、ボランティアの皆さんにも、笑顔が広がった素敵な真夏の夜のひとときでした。